

…わたしと地球をつなぐ街…

エコシティたかつ

推進事業 2019年度

基本理念

地球環境危機の時代に対応した、
自然の賑わいとともにある
持続可能な循環型都市構造の再生と創造
100年後のたかつのまちのために

「エコシティたかつ」の基本目標

緩和策 低炭素・省資源社会の実現

私たち一人ひとりが身近なアクションをおこし、
地域/地球の二酸化炭素の削減につなげ、資源を
有効に活用します

自然の賑わい・生物多様性 自然共生型都市再生の推進

丘陵などランドスケープを重視した、
生命（いのち）の賑わい豊かな自然共生型の
都市再生を地域から推進します

適応策 地域に即した防災まちづくりの推進

深刻化する局地的な豪雨や洪水、渇水に対し、
流域の水循環に即した“水災害適応型都市”づくり
を推進します

“流域”とは、
降った雨が集まる、
大地の範囲・領域
のことです。



自然の賑わい・生物多様性とは

池や湿地、森など
多様な生態系に、
たくさんの生きものが
相互に関連しながら
生息している状態のことです。



環境まちづくり普及啓発事業

～小学校敷地丸ごと3D化プロジェクト～

小学校敷地を小流域と見立てて、当該エリア内の流域での自然の地形（大地のデコボコ）を前提とした水の流れを意識し、適応策（賢い雨水の引き受け方）を考える機会を提供します。

● 3次元スキャナーによる計測

明治大学理工学部建築学科 田中研究室と協働で、川崎市立南原小学校周辺敷地を対象として、3次元スキャナーを用いたデータ計測を行い、その計測成果についてビジュアライズを行いました。



● 川崎市立南原小学校での出張授業

取組の成果物を用いて、南原小学校の5年生を対象に「大地のデコボコから、みんなのまちの防災を考えてみよう!」と題して出張授業を行いました。



区内の農的資源を活かしたまちづくりの推進

- ファーマーズマーケット(高津 さんの市)の開催・定着化
- 農業体験の実施
- 地域交流拠点との連携
- 区役所レストランで区内で取れた野菜を使ったメニューを提供
- 「高津のさんぼみち」を活用した風景撮影ツアーの実施
- SNSを活用し区内の”映える”風景を募集するフォトコンテスト



みんなで進めよう! 「エコシティたかつ」

「エコシティたかつ」は、高津区で生活し、学び、働き、活動する私たちが、それぞれの立場でできることを行い、相互に響き、支えあうことで、大きな推進力が得られます。みなさんも一緒に「エコシティたかつ」の活動を進めませんか。



連絡先：
川崎市高津区役所
企画課

電話：044-861-3131 / FAX：044-861-3103
メールアドレス：67kikaku@city.kawasaki.jp



エコシティたかつ 検索

クリック!

「エコシティたかつ」協賛・協力企業

NECプラットフォームズ株式会社、株式会社川崎フロンターレ、久政農園、株式会社富士通ゼネラル、株式会社ホテルKSP、株式会社丸井、森正養鶏場（敬称略、50音順）

「エコシティたかつ」推進事業 2019年度 報告書概要版
発行日：令和2（2020）年 3月
発行者：川崎市/「エコシティたかつ」推進会議
事務局：川崎市高津区役所
デザイン：有限会社 tt-unit

2019年度のプロジェクト報告

19



学校流域プロジェクト

学校にピオトープ(池や草原、林など)や雨水利用施設を整備し、生きものや水循環について子どもたちが学ぶ場を作るプロジェクトです。

●環境学習支援

区内市立小学校14校と中央支援学校に対し、ピオトープ等を活用した生き物の採取・観察や、砂場を利用した流れる水の働き学習など、体験活動を通じた環境学習を実施しました。
また、学校でのピオトープの利活用を進めるため、区内小学校教職員を対象に研修会を実施しました。

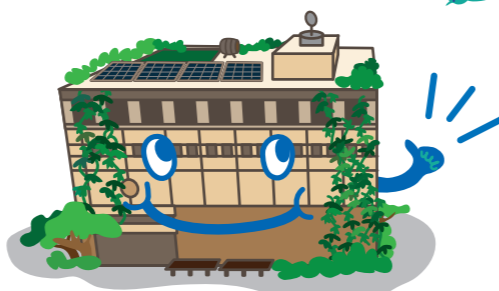


区役所の緑化等、環境技術導入によるエコシティホール化の推進

区役所庁舎では、屋上太陽光発電システム、職員手づくりのピオトープ、ペットボトルキャップから作られたベンチ、光触媒看板など、環境に関するさまざまな取組を、例として展示しています。

●エコシティホールツアーの開催

川崎市地球温暖化防止活動推進センターと協働で、小学生を対象に区役所の環境に配慮した取り組みを紹介するエコシティホールツアーと、簡単に作れるミニソーラークッカーの工作を行いながら自然エネルギーを学べる体験教室を開催しました。



「たかつの自然の賑わいづくり」事業

専門家と一緒に、水・緑・生きもの調査(外来の植物や生きもの探しも含む)を行い、さまざまな活動を通して、地球温暖化適応策・生物多様性保全への貢献を市民協働で行うプロジェクトです。



●たかつ水と緑の探検隊

川崎市立緑ヶ丘霊園内の森の一部では、常緑樹により林床が暗く、下草が少ないため、保水力が低下しています。
霊園内の谷戸の森をモデル地区として、間伐による健全な森の再生や、ホタルやトンボが舞う谷戸づくりを目指して、下作延小学校の児童と間伐などを行いました。

●たかつ生きもの探検隊(小学生向け)

専門家と一緒に緑ヶ丘霊園内の森を観察し、生きもの探しなどを実施しました。神奈川県では準絶滅危惧種に指定されているムネアカセンチコガネを捕まえるなど、楽しみながら自然の生態について学びました。



エコシティツアー

「エコシティたかつ」推進会議委員同士の相互理解を深め、協働や連携を進めるためにエコシティツアーを実施しました。委員や関係者を対象に、団体推薦委員(区内企業)である株式会社富士通ゼネラル様の環境活動の紹介と本社施設の見学などを行いました。

